

玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）地域説明会
（八浜中学校区） 会議録（概要）

■日 時 令和6年10月7日（月）19:00～21:30

■場 所 八浜公民館

■出席者 柴田市長、多田教育長、小崎次長、琵琶教育総務課長、的場学校教育課長、清山教育総務課参事

■参加者 52名（保護者36名、地域16名）

1 開会

市長あいさつ、教育長あいさつ

2 説明

「玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）」の内容のうち、八浜中学校区に該当する部分を資料に沿って説明。

3 意見交換

参加者1：バス通学に関して、保護者の負担はないとのことですが、今、保護者が負担している部分は誰が負担することになるのですか。

事務局：市の負担になりますので、みなさまからいただいている税金の、市の歳入から払うことになります。

参加者1：税金から払われるということであれば、保護者にも負担がかかっているということでしょうか。

事務局：市の事業については全てではないですが税金が使われています。一般財源となっているものについては税金の一部が使われています。

参加者2：中学校の統廃合で、東児・山田中が残ったと思うが、東児山田中が一緒になる年と、学校の人数を教えてください。

事務局：山田中と東児中の再編は令和9年度を予定しています。その時の生徒数の見込みとしては、合計で116名、クラス数は4クラスです。

参加者2：同じ年の八浜中は140名の5クラスあるのに、八浜中は統合するということですよね。統廃合した学校よりも多い八浜中をなぜ今すぐ統廃合しないといけないのですか。

事務局：市全体の学校の配置を考えた結果となります。東児中学校は三方向を山に囲まれており、東児から宇野や八浜はある程度距離があるので、その地域で一つ中学校を残すべきという考えです。

参加者2：東児中学校はそういった考えから、今後も統廃合されないと考えていいですか。

事務局：中長期的な視点で見ると、令和17年度には再編後の東児中学校も人数が少なくなってしまうので、次の段階で再編を検討する必要があるとは考えています。計画にもそのような形で掲載をしています。

参加者2：では八浜中もその時でいいと思います。意見ですが、東児中を残して八浜中を残さない意味がよくわからないのと、東児中が再編してもこれから先にまた再編するのであれば、八浜中もその時でいいのではないかと考えています。

参加者3：計画（素案）で、小学校は2学級以上、中学校は3学級以上ということですが、50年くらい前からほとんど八浜は1クラスでした。1学年を複数学級にした方がいいというのは分かりますが、ずっと2クラスだった中学校から優秀な人が排出されたかといえばそうでもないし、ずっと1クラスだった八浜から優秀な人が出なか

ったかといえそうでもないです。だから、そこではないのではと思います。1 学年 1 クラスでいっても、別に問題はないのではないかと思います、どうでしょうか。

事務局：長年 1 学年 1 クラスでやってきて、2 クラスでなければいけない理由ですが、理由は様々あります。

まず大きな違いはクラス替えができるという点です。例えば、友だち関係・人間関係でなにかあったときに、クラス替えをすることでリセットできる機会になります。

次にクラス替えにより、多くのいろいろな人と関われることで、自分に合う友達、考え方や価値観や趣味、そういったことが似ていたり、自分を理解してくれたり、共感してくれたり、そういった人と出会える機会やチャンス、可能性が増えます。クラス替えというのはそういった意味で重要となります。

それから 1 学年のクラス数が増えるということで、教員の配置が増え、担任以外の配置が増えます。それにより、学校の安定した運営ができるようになったり、担任以外のいろいろな先生と関わる機会が増えたりします。

さらには、小学校でも教科担任制ということが今行われています。教科担任制ができれば、より専門的な授業や学習ができるようになります。

中学校でいうと、2 クラス以上になり、教員の配置人数が増えることで、増えただけ専門教科の常勤の教員がいるということになり、教科に関する指導が非常に手厚くなります。

教員の数が増え、子どもたちがいろいろな教員と関わることができ、いろいろな先生がいろんな目で子どもたちを見ることができるので、そういった意味でも子どもたちのために意味があります。

参加者 4：市長と教育長に質問です。先ほど、バスで行けなかった子は親が連れて行くということでしたが、ぎりぎりの時間に出ている子がたくさんいます。うちもそうですが、遅刻ぎりぎりです。親が連れていくとなると親もぎりぎりになって、それだと本気で働けなくなります。

いま、こども園に入れなくて壁があって、学童の壁もあって、さらに中学でも壁ができると思います。子ども子どもと言いますが、結局育てているのは親なんで、親がしんどい、うちの地区には中学校がない、近くに中学校がないと、地域に魅力もなくなると思いますがどうでしょうか。ぎりぎりで登校してる子がたくさんいて、親が手を引いて行っている子、登校班から外れている子、親もほぼ共働きであったり、それもどっちかが連れて行く、車が 1 台しかなかったりする家もある。みんなが 1 人 1 台持っているわけではない。そうした中でどうやって子どもを連れて行くのですか。

市長：バスが朝 1 便ということですが、運用については実態を見ながらフレキシブルにやれるのではないかと考えています。時間を決めるにしても、それぞれの事情に応じて多少柔軟に考えていけたらと思っています。

参加者 5：もっと具体的をお願いします。2 便になるのか、遅れた子をどうやって連れていくのか。

市長：そこは原則 1 便としてやらせてもらおうかと思っています。

参加者 6：子どもからの意見なのですが、遅れた場合各自行ってくださいとありますが、大崎八浜間は路線バスもなくシーバスだし、八浜から荘内に関しても、乗り換えが必要だったり、路線バスがないので、せめて路線バスを充実させてほしいというのが子どもから意見が出ました。

参加者 2：大型バスが 16 台と言っていますが、運転手は確保出来ているのですか。運転手が足りないという問題もありますよね。そもそもどこに頼んでいるのですか。

参加者 7：意見ですけど、荘内はないという声を聞きます。うちは見石ですが、調べると宇野までは 7.7 キロ、荘内は 10 キロ以上あるんですよ。宇野なら特急バスがある。早退となっても特急バスで帰っておいでって言える。

参加者 6：大崎も同様で、八浜駅があるから宇野には電車でいける。うちは子どもが支援学級に在籍しているので、もし八浜中に支援学級がなかった場合、行くなら荘内中ではなく宇野中になると思います。

参加者 7 : 見石から荘内までルート調べたのですが、1 時間 40 分くらいかかる。バスがないし、シーバスだと乗り換えがいる。指定校が変更できるとあったが、聞いたら周りは荘内はないから宇野に行かせると言っていた。見石地区の子どもたちはごそつとみんな宇野に行く可能性がある。3 人以上はそう言っていた。

事務局 : スクールバスについては行き 1 便ということですが、シーバスが不便だということで、公共交通の担当課と協議したいと思います。

参加者 7 : 公共交通よりも、親の負担が心配です。子どもが主役と言いますが、子どもを育てている親が負担に感じると思います。

参加者 2 : ちなみに指定校変更で宇野に行ったら親が実費負担ですからね。

事務局 : ご意見として承ります。

参加者 8 : どんなに地域住民や保護者が反対しても、なぜ統廃合は強制的に行われるのでしょうか。

事務局 : これまでも検討委員会の方で 1 年半協議してきた中で、今回素案を出しています。その内容を尊重した上で計画を立てています。教育委員会としてはこの流れで考えていきたいと思っています。

ですが、今日は様々な意見を聞くために来ていますので、いただいた意見と検討委員会の答申を見ながら最終的に決めたいと思います。

参加者 2 : 何かあったとき、誰が責任とるんですか。通学距離が伸びたら確率的に事故も増えますよね。変な人に遭う確率も増えますよね。安全を確保できますか。

参加者 8 : 統廃合の責任者の名前を教えてください。

事務局 : 玉野市教育委員会になります。

参加者 8 : 統廃合は国からの推進ですか、それとも市独自の方針ですか。

事務局 : 国からの推進でやっているものではなく、子どもたちの教育環境の充実ということで、玉野市教育委員会でやっていることです。

参加者 9 : 私は荘内に住んでいますが、大崎小の少人数でアットホームな環境で子どもを育てたいと思い、指定校変更で大崎小に子どもを通わせています。私自身、大崎保育園、荘内小、荘内中、光南高校とずっと玉野市で育ててきているんですが、自分が育った環境から、子どもたちを大崎小学校に行かせることを選択しました。

最初に教育長が言ったように、統廃合はすごいことだと思っていて、地域や保護者の理解が必要だと思っています。

この説明会だけでは、時間も回数も少ないと感じています。P T A 会長として、せめて大崎小・大崎こども園の保護者、大崎小 60 世帯の保護者だけでも納得できなくても理解ができるかたちで統廃合が進んでくれたら嬉しいと思っていて、本当は最後の 1 世帯まで納得できれば良いなと思います。

10 月 20 日に大崎小 P T A 主催で保護者向けの意見交換会を開催したいと思っていて、市議会議員の先生も呼んで、私たちの気持ちを教育委員会や市長に届けたいという気持ちでいるのですが、先ほど、教育委員会が責任者ということで、会は何回かしようかと思っているのですが、そこに教育委員会の方が来て、説明というか議論してもらうことは可能でしょうか。

事務局 : この場ですぐ回答するのが難しいので持ち帰らせてください。

参加者 10 : 自分の子どもが小学生になって初めてこのようなことに興味を持ちました。基本的になくなる方って反対するんです。なくなるなら、別に言わないけれど、なくなるから言っているんですよ。

素案には今後の予定でパブリックコメントとか 3 月下旬には作成しますよとか、きっちりルールが引いてある。

今日は意見を聞かせてくださいという回で、どう考えても反対意見ばかりで賛成の意見はないですよ。サ

クラでも仕込んでるなら別ですが。

デメリットはわかりやすい。通学距離が延びるとリスクが高まるとか。

いいイメージとして教育の質が上がるとか設備に使えるお金を一カ所に集中できるとか。

であれば、学校だけで削減するのではなく、市の税金全体で削減できるところがあるのではないですか。その辺りが伝わらないから反対するんですよ。いいイメージを、メリットを届けてもらえてない。

事務局：ご意見ありがとうございます。

参加者 11：まず、八浜中がなくなるというのが、保護者からすると、急に持ち上がって、急に決まって、このレールで行きますよという説明会にしか思えない。市長も言っていたように、少子高齢化は大切な問題ですから、八浜から中学校がなくなると、今後、新しい人が八浜に来て家を建てるということがなくなります。子育て世帯が何を一番に重要視するかといえば、子どもの通学や環境を一番に考えます。スクールバスを走らせると言っていますが、外の方から見れば八浜中は無くなります。

自分は昭和 54 年生まれですが、八浜中を卒業したとき 6 3 人卒業しました。今年の卒業生は 45 人で、そんなに減っていないです。

なぜかという、やはり八浜は玉野にも近く、岡山にも近く、いい場所ということで外から来て住んでくれる人がいるから、あんまり減っていないんです。これが中学校がなくなると、外から来て住む人は、まずいなくなります。間違いないです。教育だけの問題では無く、八浜という地域が死んでしまう。玉野市の中の一部の八浜ですから、少子高齢化を考えたときに学校の問題は根っこの部分でもあります。島の学校が一人二人になったときに守っていくというのは大切な問題だから最後まで守らなければいけないんですよ。限られた予算の中でというのはわかりますけど、よそから予算を持ってきてでも最後の最後まで守らなければならない根っこの部分だと思う。なのに、なぜいきなりこのような話を持ってきて、切ろうとしているのか。地域みんな不信に思っているし、今日来ている人は賛成の人はほとんどいない。地域の人や教育長も言っていますが、意見を聞く、尊重するのであれば、これが終わった後に八浜中学校の保護者に賛否のアンケートを採ってください。

その中で賛成がそれなりにいるのであれば仕方ないかもしれないけれど、子どももそんなに減っていない中で、これが説明会というのであれば、反対意見もくみ上げて話が煮詰まっていくのであれば納得もできるが、今の状態では納得いかないから、みんな反対している。是非、説明会が終わったら、アンケートでもとってもらえたらと思います。

事務局：ご意見ありがとうございます。

参加者 12：市長に意見と質問です。そもそも問題として少子高齢化がある中で、小さい子ども、新しい方が玉野にくるために魅力を出す政策をしてもらえれば、そもそもこの話はなかったことなので、そちらに力をいれてもらえればというのが率直な意見です。

質問としては、適正配置の計画として八浜中と荘内中が合併することによって荘内中を修繕などして荘内中に行くという話ですよ。修繕にも費用がかかるので、適正な場所に新しい学校を作るという意見はなかったのですか。そうすれば通学距離も長くならず、反対意見も少なかったのではないかなと思うのですがいかがですか。

事務局：確かに理想としてはそういった形でできればというのはありますが、学区の中心に大きな土地もなく、財政的に新しい学校を一から建てるというのも非常に難しいということで、既存の施設を使わせてもらうという選択をしました。

参加者 12：そもそも意見はなかったということでしょうか。

事務局：検討委員会の中では、そうならいいねと言う話はもちろん出ていましたが、現実的に財政的にきびしいところで既存の校舎を使うということになっています。

参加者 13：大崎小学校が無くなることに大反対です。2 クラスと言われていますが、私自身、大崎保育園から小学校・八浜中学校・光南高校と行きましたが、中学校までずっと 1 クラスでした。20 人いるかないかの 1 クラスだったんですが、その中でも学びはたくさんあって、今このタイミングで 2 クラスにする必要があるのか、疑問に思いました。

先ほどから検討委員会とと言われていましたが、検討委員会の方もおそらくこれが実施される頃にはお子さんが現役ではないかと思っていて、検討委員会の中に、それぞれの学区の P T A さん、それから小・中の校長先生、園長先生、いると思うけど、なぜ再編時に小学校に子どものいる現役の保護者がいないのか疑問です。誰がどのように検討委員会のメンバーの決め方を教えてください。

事務局：各中学校区区の代表の方は、中学校区ごとに PTA 会長を集めて、説明させてもらい、趣旨を理解してもらった上で話し合いをしてもらったのだと思いますが、そこから推薦してもらっている状況です。中学校区から選んでいただいているので、小学校の保護者もいました。

参加者 13：検討委員の再編成というのはないのですか。

事務局：再編成ということは考えていません。

参加者 14：意見として聞いてほしいんですが、基準として 2 キロ 3 キロ言われていますが、1 年生の歩ける距離やスピードと 6 年生とは全く異なると思います。

なので、大崎小学校を残して、1～4 年生ほどを大崎小、体力がついてきたら八浜小という、分校制にするのはどうでしょうか。おそらく昔はそうだったと思います。今、大崎には家が新しく建っていて、新しく市街から来ている人たちは、小学校から高校まで徒歩自転車圏内でいけるからというのがあると思うんです。その方たちにどう説明しますか。小学校中学校がなくなると、他の方が入ってこなくなります。少子高齢がますます進んで、児童数が減ったときに小学校は 1 校にするんですか。減る児童数に合わせるのではなく増やす方法を考えてほしいです。

事務局：ご意見ありがとうございます。

参加者 15：うちには子どもが 4 人いまして、子育て奮闘しているのですが、そもそもですが、人を増やす話をしないと意味ないと思っていて、合併したところで人減っていくんですよ？

過去のデータ見ても右肩下がり、そこから何もやってないですよ。先ほどアンケートの話出しましたが、市全体でどのくらいの賛成があるのですか。市としてはやった方がいいと言っているのかもしれないけど、住んでいる市民がやりたいと思ってないのなら一方通行の話ですよ。それを押し通すなら、なんでもまかり通りますよね。市では意見を色々な学区で集約された上で進めているのですか。

事務局：アンケートについては、令和 4 年度に、検討委員会と連名ではありますが、実施させてもらいました。結果については手元にないのではっきりわかりませんが、賛成の方もかなりの数いました。

参加者 15：きちんと集約してからやらしてもらわないと、さっきも反対意見ばかりだったのに、納得しないまま進めて、押し通すならどうかというところ。また、人を増やす話をしないと市は小さくなってしまふ。

参加者 16：私は嫁いでここに来ています。私の地元は 9 クラスあるような大きな学校だったのですが、正直友達の顔とか覚えてないです。

先ほど、多様性という話もありましたが、私はこっちに来てよかったなと思うのは、のどかなところ特有のところ、小規模の良さに惹かれてこちらに来ました。家も建てたので、この話が出たときに、それなら建てなかったの

にと思いました。賃貸の人は出て行ってしまふ、私も子どもには将来近くに住んでほしかったのに、孫に学校が近くに無いとこに住めというのは拷問かなと思ったし、近くに空き地や空き家も増えてきて、ここに住んでもらったらなと思っていたのに、それも叶わないかなと、ここよりは岡山市内に住んだ方がよくない？とか思ってしまいます。保育園は待機児童もないし、住みやすいところだと思っていたのに、小学校がないなら、岡山市や倉敷市に出て行く人が増えると思うので、そこを考えてほしいと思います。

参加者 17：市長に聞きたいのですが、通学バスは 1 ヶ月いくらかかるのですか。市がバス会社に払うお金です。

事務局：1 車でだいたい年間 1 千万です。月 100 万円くらいです。

参加者 17：それが何十年が続いたら、学校建て直せるかとおもうんですけど。なぜ、直さずにバスとかなっちゃうんですか。そもそも財政がないのであれば、ないもの出さずにあるものを使えばいいのではないかと考えてしまうのですが。それはなぜですか。それを市長はどのくらいかかるのかを知っていますか。

市長：おっしゃることはよくわかります。運転手も確保が難しいという話もあります。

参加者 17：それでも直さず、新しいところに行かせるのはなぜですか。10 年たてば 2 億ですよ。20 年たてば 4 億ですよ、直せそうな気がするのですが。

市長：そこは子どもの教育環境として、一定の数以上の人数を確保、多様性を勘案して考えています。

参加者 17：徒歩で行ける人が今度は自転車通学になりますよね。自転車代は誰が払うんですか。

市長：それは保護者になります。

参加者 17：保護者の負担ないって言ってたじゃないですか。僕も反対なんで、基本的には。

市長：ご意見として頂戴します。

参加者 6：子どもからの意見です。今回の統廃合は子どものためって言っていますが、子どもの意見聞いてくれないと子どもから言われ、多分、令和 4 年に 4 年生以上を対象にアンケートをとっているが、うちの子は対象では無かったので、意見聞いてもらえなかったと言われて今回聞いています。

特別支援学級で少ない人数で複式でやっているが、私はそれでいいと思っている。複式でなにがいけないのかと思っている。今 17 人の交流学級に行っているのですが、それでも学年が上がるにつれて、そっちの授業が増えるとしんどい。そういった少人数の方が合う子どもたちのことを考えてないのではないかな。そういった学校を残すという考えはないのですか。

事務局：計画と今後の学校の運営の参考に子どもの意見を聞かせてもらうように検討していますので、もしかしたら希望に添える形ではないかもしれませんが、今、現在、検討しています。

参加者 2：子どものためというなら子どもの意見が大事だし、そもそも複式が悪いという根拠はない。大崎は複式になるという予測ですが、何年か複式になったとしても加配で先生は一人来ますよね。

事務局：加配については絶対来るかどうかはわかりません。

参加者 18：以前アンケートの回答をしたのですが、そもそも反対と選ぶところがなかった。その時はまさか八浜中が無くなるとは思ってもいなかったから、けっこう他人ごとみたいなところが正直あったので、真剣に回答はしてなかったかもしれないです。

確か、東児に統合か、荘内に統合か、どちらがいいですかという内容だったかと思いますが、どちらも嫌だという気持ちがあって、どちらでもないに○をしましたが、どちらでもない、はそもそもどちらも嫌なんです。（注釈：市が実施したアンケートではありません。）

八浜のいいところって、どこの子どもか分かっていて、地域で子育てしている感じなんです。わたしの出身の学校は 1 学年 4 クラスあったりしたけど、私も顔は覚えていない。

でも、今は親もわかるし、どこに住んでいるのかある程度わかる。探しに行くにしても大体わかる。それが荘内になってしまうと、荘内は広いし、自分が分からないところに、子どもが自分で行って帰ってくるできない場所に子どもを行かせるというのが不安で仕方ないです。

朝の遅刻の話もありましたが、今度は帰るも乗り遅れたら迎えに行くの？ 毎日バスに乗れたのかを心配しないといけな。私も仕事をしているので、部活の片付けの時に、バスがあるから帰ってなったら、荘内の子からしたら面白くないだろうし、そこで壁ができて亀裂が出来て、考えるほどいいことが一つもない。

実際に人数や距離など、数字だけで考えていると思うのですが、実際に八浜の人間が荘内という違う文化のところに行くというのを、多様化・交流というけど、中学生とはいえまだ子どもですよ。そんなところに人生の大事な3年間を通わせて、不登校になりました、親はどうしたらいいのですか。学校でアンケートをとりました。話を聞きました。それだけですか？ それで治るとおもいますか。治らないですね。今回も、話は聞きました、アンケートはしました、だから？ って話じゃないですか。結局何も変わっていない。ホームページの方で回答を追加しました、っていうから見たら何も変わっていない。増えたのはわかるけど何も解決していない。検討しますと言っていますが、こちらからの意見に明確な答えは返ってきていない。今回も、計画が出来る前に説明します、って言っていますが、それじゃ遅いじゃないですか。計画が進む前提じゃないですか。きちんと私たちの身になって考えてもらいたいです。

参加者 19：一つの学年にいくつかのクラスがあるというのに魅力を感じているんですけど、それ以上にデメリットの方が上回っていて、災害時にこれだけの人数を、行き1便、帰りは2便で本当に安全に八浜に送り届けてくれるのか心配なのと、自分も大きい学校に通っていて、自分の学校前に、学校前というバス停があって、その時間に乗らなくても1時間に1本は最低便があって、具合が悪くなってしまったり、大災害じゃなくても、大雨とか変質者が出たとかの緊急事態の時でも、この地域の人は早めに帰りましょうということが出来ていた。行き1便、帰り2便というところに不安を感じる。異常事態になった場合のことは想定しているのでしょうか。

事務局：災害時や非常事態の時には、おそらく引渡ということで学校に保護者に迎えに来てもらうという話ではなかったかと思います。不審者が出たときに学校が早く帰るということを決めた場合はスクールバスも運行するかと思いますが、災害時は保護者に引き渡すということになっていたかと思いますが、その辺りも具体的に検討したいとは思っています。

参加者 1：車が300台～400台集まる場合の渋滞について考えていますか。

事務局：渋滞等については時間がある程度ずれるということに関しても、考えた上での時刻について準備委員会の中で検討していくこととなります。今、渋滞でどうだとか、事故があったときについても、バス会社のほうから連絡が入るようにはしますので、事故が起こったときにもどう対応するかマニュアルを作り安全な運行に努めていきたいと思っています。

参加者：災害時荘内まで歩いて迎えに行くのですか。大崎は歩いて行って歩いて帰る、というふうに災害時だからやっていると思うんですけど。

事務局：災害時なので、どういったことが起こるかは想定していても想定外のことが起こるかもしれません。車で行ける状況なのか、道が通れなくなっているのかは分からないので、そういった場合は学校にそのまま留まって、避難してもらうということも当然想定していくと思います。バスで送れる状況であれば当然対応しますし、状況によっては学校に留まった方が安全という場合もありますので、そういう選択肢もあるかと思っています。状況の判断になるかと思っています。

参加者：バスで送った先でも、集合場所であったり、家ではないですね。そこまで車で迎えに行けるのか、その問題

もありますよね。

事務局：正直なところ、現状であればこうですよということになります。今後スクールバスを走らせてないところからになりますので、それも踏まえて、学校とも話をして、学校の災害時のマニュアルに入れていくといった形になりますので、それはその状況になればみなさまにもお伝えします。

参加者2：答申からの会議、議事録を非公開にしますよね。あれはなぜですか。

事務局：検討委員会の方から昨年の12月に答申出してもらって、そこから6月に素案を出していますが、庁内の未来の学校作りプロジェクトチームの中で、総合政策課や財政課やこどもみらい課の入った中で、どういったことが出来るかといった内部的に協議してきたところなので、今回の素案に至るまでの内部的な協議に至るところは出してないです。

申し訳ないですが、教育委員会で話していることも非公開事項になっていることは出せません。

参加者20：市長にお伺いさせていただきます。一つは、今日の議論でわからないのですが、なぜ生徒数もこれからの出生数も上回っている八浜中が廃校で、東児中が残るのですか。

これと、もう一つは冒頭の挨拶で、1回目の説明会を開催しますと言われましたが、もちろん、今日のみなさんの話を聞いた2回目3回目の説明会の開催を約束してくれますか。

市長：なぜ八浜中が無くなるのかと、人数のことを言われましたが、これは検討委員会からの基準を当てはめてやりますという中で、中学校であれば1学年3学級が原則であるということから、それをクリアするために、当てはめたということです。じゃあ逆になぜ東児中は無くならないのかということですが、これは地理的なものを重視しまして、これまでの歴史的な経緯というものや、地域性とかを考えて、東児はもうしばらくはという説明もありましたが、単純に人数だけで比べると確におかしいなということもありますが、今決めている素案の示している内容はそういったところです。

それと、1回目の説明ですといったのは、今回、全部で8カ所説明会を予定していて、それを第1回目ということで申し上げたのですが、2回目以降も持ち帰って検討したいと思います。

参加者20：今の話、中学生にわかりますか。地理的要因だったり歴史、八浜にも歴史はありますよ。我々自慢してきた歴史もありますし、地域性？八浜は地域性はないのですか。八浜はどこへでもひっつけやという認識ですか、市長は。中学生にもわかるような、明確な基準ですよ。これだからこうだということをやっていないと、これからどこへ行っても出来ないと思いますけどね。もう一回お願いします。

市長：基準というのは最初に申し上げた1学年でのクラス数を基準に当てはめた。本当は全部それでいけば良かったのかもしれませんが。ただそういったとき東の地域に学校を無くしてしまうのはいかがなものかと。ただ八浜が歴史もあって地域性もあることは十分認識しています。

参加者2：でも、先ほど教育委員会のかたがのちのち東児も無くしていくという話もしていましたよ。残すと言っていたけど。

市長：将来的にはそういったことも考えます。

参加者2：でも同じですよ、東も西も。結局人数に当てはめたけど、東児山田は1クラスですよ。当てはめたけど東に大事だからと言ってますけど、たどっていくとつじつまが合っていないかと思うんですけど。

市長：人数でいくと確かにその通りです。説明しづらいというのはその通りですけども。原則当てはめたらこうなっていると。素案としてはこうなっています。

参加者2：では、素案であって決定事項ではないのですね。

市長：そうですね。素案として、示しています。

参加者 2 : では白紙になることもあるのですか。市長に最終的な権限はありますよね。

子どもに説明するのに、1 学年 3 クラスないとダメだから、ではできませんよ。子どもは納得しませんよ。教育委員会さん、そういう指針あるかと思いますが、八浜中なんて 3 クラスなったことないですよ。今までそれやってきて、急に無くなる理由が、1 学年 3 クラスないとダメらしいよって子ども親も納得しないですよ。

市長 : 検討委員会で今回のこの方針が示されたということで、教育委員会でまじめに考えて、その方向で案を作っている。

参加者 2 : その検討会がわからないんです。議事録出ないから。何をしたかがわからないから今日聞いているんです。市長はどうしたいのですか。

市長 : みなさんの意見を聞いて、考えたい。

参加者 2 : 昨年、PTA 会長をしたとき、会長会議の時に、小学校は地域性が大事だから地域の住民と話し合っ、決めないといけないです、とっていてこの素案ですよ。それは市長も素案に OK しているようなもんじゃないですか。市長として止めることもできましたよね。

市長 : その部分は教育委員会としてしっかりと説明して、みなさんの意見を聞きながらやるというのがプロセスかなとは思っています。あまり早い段階で私があればこれ言うと、政治的な意図でねじ曲がったりとかあるので。

参加者 : 今日の議事録はあるんですよ。

事務局 : 今日の議事録についてはお時間いただきますが後日ホームページで掲載させていただきます。

参加者 21 : ホームページって言われますが、皆さん見えていますか。私は上手に使いえないからなかなか見えなくて、検討委員会が誰だったのか全然知らないですよ。去年はされたのか知らないですけど、今年は違うのですか。この中のメンバーを見ると、PTA 代表は宇野小、玉小、日比中、山田中、東児中、荘内中、大崎小で、八浜学区は入ってないですよ。これを見たからわかったけど、見ないとわからないんですよ。だから私たちの意見はまったく反映されてないってことですよ。そうしか考えられないです。

紙で出すとお金がかかって大変だと言うこともわかりますけど、市民がみんなで考えないといけないと思うし、ホームページが見えない人は置き去りですか。偏っていませんか、委員会のメンバーが。

それともう一つ、八浜中と荘内中って規模が全然違うんですが、少人数の八浜小の子がいかなり荘内中に入ります、子どもたちどんな気持ちですか。統合じゃなくて、どう考えても吸収ですよ。

ひとりひとりの子どもたちは心の問題や不登校になる子も、絶対とは言わないけど増えますよね。今の不登校の生徒に対しての十分なケアも出来ていないのに、これでまた増えたらどうするんですか。委員会は責任とれるんですか。学校の先生にお任せですか。それじゃあ、学校の先生は増えませんよ。

いきなり統合して 3 学級ないといけないとか、今計算したら、一クラス 40 人近いんですか、中学校。どうするんですかこれ。体は大きくなる、同じ教室でぎゅうぎゅう詰めで一人の先生で目が行き届きますか。一人対 40 人ですよ。しかも大きな男の子の子女の子がいっぱいいて。

参加者 2 : 学校が再編すると先生が増えますと言いましたが、結局 350 人くらいいる先生が、200 何十人に減りますよね。100 人くらい。生徒数変わらないのに先生数は減るんですよ。それで質の高い教育が出来るとか、全然わからなくて、大崎小と八浜小が一緒になっても、2 クラスになるのは 4 年と 5 年だけじゃないですか。1~3 年、6 年は 1 クラスなのに、今まで 10 何人でやっていた 1 クラスを一人の先生でやっていたのが今度は 30 何人になる、それで目が行き届くかという、きちっとした教育が出来るというのが不思議でならない。

事務局 : 先ほどの広報の仕方についてはこちらの努力が足りてない部分があるかと思いますが、広報たまにに掲載さ

せてもらったり、見えない方もおられるかもしれないけどホームページに掲載させてもらったり、保護者さんには可能な限り周知が行き届くように紙媒体で配らせてもらったり、努力はさせてもらっていますが、もう少し工夫をしていきたいと考えています。

事務局：今の子どもたちは激動の社会を生き抜くために、いろいろな力を身につけなければなりません。そういう中で子どもたちは自分で課題・難題について解決していく力、これが必要になってきます。そうときにどのような力が必要なのかというと、自分で物事を考えて、捉えて、そしてどうしなければならないのかという判断力・思考力、そして色々な人の考えに触れながら色々考えていく、ということが必要になってきます。

そういう中で、今の子どもたちに求められている力というのが、判断力・思考力・柔軟性・多様力、いろいろな力が必要になってきます。たくさん色々な人と、多様な人と関わるなかで、そういった力を身につけていかなければいけない。そういうことで学校の中で、ある程度の集団、ある程度の人との関わり、色々な人と出会って、知って、という経験が必要になってきます。

そういうところで、少人数ということ考えたときに、ある程度の集団の中で、子どもたちがこれから社会に出て生き抜く力を育成させるということで、適正規模化というところを進めているところです。場合によっては少人数のグループで授業をしたりと、工夫して授業を進めていきます。いろいろな形で工夫をしながら子どもたちにとって学びの深い環境をどうしていくかということを考えながら進めているところです。

不登校については、一番心配されてるところかと思います。これまで少人数でやってきたところで、学校生活を送ってきた子どもたちが、大人数のところではたして大丈夫なのか、それが一番気になっているところだと思いますが、教員が増えることで組織的に対応します。担任だけの関わりではなく、担任以外の教員が関わったり、環境が大きく変わるといことで、変化に少しでも不安を取り除けるように、交流学习を事前に進めたりとか、配慮して進めていきたいと思っています。大規模校であっても、しっかり生徒に先生方が目を向けて、支援をしていっているところです。そういうふうなところでご理解いただけたらと思います。

参加者 23：先ほど、子どもの意見を参考にと言いましたが、こどもの権利条約、それから家庭庁のほうでも、子どもが関わる問題については、年齢に関係なくわかるように話をして、子ども意見を聞くようにと、国も国連も言っていると思いますので、参考にではなくて、子どもにわかるように、朝 1 便のバスに遅れたら困るんだよとか、帰りはバス 2 便なんだよとか、クラスの人数増えるんだよとか、こんないいこともあるしデメリットもあるんだよというのをちゃんと説明して子ども意見を主にして、していただきたいと思います。

参加者 24：元教員です。一番思ったのが、少人数を教えるのが、教員としては一番教えやすい、当たり前のことなんだけどもそれを増やす。そのためには教員の人数を確保するのが大事です。統合すれば教員の数が増えると言われていたけど、PTA 会長さんが、いやそうじゃないだろと言っていた。そこに今矛盾があるんだけど、どちらを我々は信じればいいのか。これが一点です。

特に八浜について。大崎と八浜が一緒になったときに教員の数が半分になるのは、誰が見ても明らかです。それでも教員の数が増えると、教科指導をしていくとか、その先生が月水金は八浜で、火木は大崎に行きますよとか、それでいいんじゃないかと思います。これが 1 点です。

第 2 点は、統合したときに親が、「ああ統合せんでよかったなあ」ともし子どもにもらしたときに、子どもが、いじめられることもあるし、通学時間も大変だし、と思ったら、不登校になったり、そういう子が明らかに増えることは目に見えている。本当の意味で子どもも保護者もそれから実際携わる先生も、この統合について、前向きに考えられる状況を作らなかつたら、これは失敗に終わってしまいます。後戻りは出来ないんです。出来ないからこそしっかりやっていかないといけないのに、先ほどから聞いていたら、答申ありきで答申のせいになっている。その

ような話をしていたから、いやそうじゃないだろ、本当にこのやり方がいいのか、我々がしっかり議論して方向性を出さないといけないのに、あと3年から4年したら統合していくなだと、十分につめてないと、きっと子どもたちも心迷わして不登校になる子も出るだろうし、そういう状況がある程度見込めなきゃいけないんですよ。そんな中でそういう方法をとって行くんですか。

せっかく市長さんおられるから聞きたいんだけど、さっきホームページを玉野市民が見ている人がたくさんいるかと思ったら、見るには大変ですよ。何を持って見るんですか、パソコンですか、パソコンの普及率が玉野市はどれくらいですか。スマホですか、スマホで玉野市のホームページを検索する人がどれくらいいますか。調べていますか。それなのに市役所に問い合わせしたら、ホームページに出ていますから。ホームページ見てください。と決まったように言われるんですよ。

それから、人口の減少、玉野市の人口は確かに減少している。これを市長さん、どのように食い止めようとお考えですか。ここでいま少子化が起こっているのはわかってる。じゃあ我々はどこが暮らしやすいんだ。玉野市が暮らしやすい、岡山県で一番暮らしやすいのは玉野市だ、そのような統計もあったように聞いています。だけど実際は暮らしやすいのは岡山市、そういうふうに人口がなっているのも事実です。

だったら、ここで統合したらより玉野市から加速的に人口が減少していくのがありえるんじゃないですか。特に八浜でいったら先ほどからあるけど、新しく家を建てて八浜が暮らしやすいかという学校がなくなったら、魅力が無くなるじゃないですか。学校とコミュニティはこれが一体になっていかなければならないのに、それがなくなったら高齢者は増えるかもしれない。けれど若い人はいなくなって、結局はその町がなくなってしまうかもしれない。それが加速されるということに市長、お考えじゃないですか。玉野市をどうやって生き続けさせるんですか。どんなお考えでやるんですか。統合すれば大勢の方が玉野市に残る、玉野市に移住してくる人も増える、どうなんですかそのあたり。

私はそんなことは決して起こらないと思っている。だから、しっかり考えていただかないといけないです。特に八浜のみなさんはそのような気持ちを持っている。持っているのに、八浜の人に十分な説明をする機会を与えていない。今日だって36名しかこられてない。そんな状況で八浜全体の保育園の方々、赤ちゃんをこれから産もうと思っているの方々、そんな方々に今の統合に対してどんな意見を持っているのか、あるいは高齢者に対して、あと10年生きられるかわからないけど、そういう者だって、自分が育った八浜が廃れるようになってしまったと思っているわけですよ。そのような中で、簡単に決めて、よくわからん検討委員会で答申だしたからとか、ちよろちよろ準備委員会つくってどうだとか、スクールバス運行だって1便だけとか、バスに何人が乗るんですか。45人乗りですか、マイクロバスですか、大崎小のこどもが、スクールバス乗るのにここに74人いるんですよ。バス何台出ますか、1便だといったけど。逆に八浜小のものが荘内中に行くとき、何人おるんですか、バス何本出ますか、その間はどうするんですか。帰りにまた迎えに来るといっているけども、バスがうまいこと運行できるんですか。そんなに甘くはないですよ。そんな具体性も無くしてとりあえず話を聞いてた。それでスクールバスの運行はどうだこうだと言っている。スクールバスはどこから乗るんですか。乗るときに自転車置き場があるんですか。整備するんですか。通学路に横断歩道を作るとか通路を作るとか言われているけど、どこに予算があるんですか。スクールゾーン、どこに作るんですか。荘内中学校の近くですか。近くだけをスクールゾーンにしてどうするんですか。八浜や大崎の人間から考えたら、八浜小の周りだけスクールゾーン作るんですか。そんな馬鹿な話あるわけじゃないですか。

市長：今回の学校の再編が、魅力ある教育を作るという観点では、そういった形で魅力を感じていただけるようなふうに行きたいとは思っていますが、八浜のみなさんのご意見をよく聞かせてもらいましたが、必ずしもそれが

プラスになるかどうかは改めてよく考えたいと思っています。学校が小規模ばかりになって魅力が無いという方も中にはいらっしゃる。ですから、そういうところも考えながら、方針とかも生かして今回も素案というかたちにしてありますが、もちろんみなさま方のご意見は聞きながら判断していきたいと思っています。

参加者 1 : 八浜がどうして人口が増えないのかというのは、農地が広がっているからです。農地は農地の利用としてだと人にあげることができるけど、他人に、家を建てるから人にあげるといことは出来ない。だから人口が増えてない。82 年のときに、移植者がここに来たタイミングで、その人たちの子どもが生まれた年なんです。だから爆発的に増えたんです。そこから下がっていったのは、農地をうまく他人にあげることが出来なかったから増えていてないんです。それでも市の 4 番目に人口が多いというのは、八浜という地区は、岡山にも倉敷にも玉野市にも出やすい、何か災害があったときにも山を越えてはいかない、だから災害にも強い地域だし、仕事に行くにしても住みやすいからここを選んでいます。そんな地域をなくすという法案はやめて欲しいです。

参加者 24 : 僕が言いたかったのはね、みんな見えていますかってことなんです。小さい字で書いてあって、スマホで見えないですよ。そういう現実を言ったばかりなのに、ホームページにあげるとか同じことを繰り返すんですか。

事務局 : 失礼いたしました。全市民に紙で配るといのは、なかなかむずかしいのでまずは市民センター等に置かせてもらうのと、保護者の方には学校を通じてになります。配布の方をさせていただきますのでよろしくお願いします。